

河川改修事業の事業再評価に向けて

説明資料

平成22年11月

国土交通省 東北地方整備局

河川改修事業の事業再評価にむけて

最上川水系河川整備計画が平成14年度に策定



計画策定から8年が経過し、社会情勢の変化等により課題が生じてきている。

- ・景観や環境、歴史的な遺産等への配慮
 - ・現在の生活基盤等、実情に配慮した治水対策
- } 従来よりも更なる配慮が必要



河川改修事業の事業再評価にむけて課題の対応方針を検討する必要がある

河川改修事業の事業再評価にむけて

最上川水系河川整備計画

戦後におきた最大の洪水である昭和42年8月に発生した羽越豪雨などの洪水による被害を防ぐことを目標

[当面の目標を設定し段階的に整備]

河川整備計画の事業実施にあたり、当面の目標として概ね10年に1回発生する洪水によって被害が発生する箇所を先行的に整備

(最上川水系 河川改修事業の進捗状況)

ここ数年で当面の目標としていた概ね10年1回発生する洪水に対応する事業が進捗
今後数年で概成する見込み

一方、戦後最大規模である昭和42年8月に発生した羽越豪雨などの河川整備計画規模の洪水を安全に流せないのが実情



今後、河川整備計画の事業を上下流のバランスを図りながら順次実施

2

課題例 百目木地区の築堤について (1)



3

課題例 百目木地区の築堤について (2)



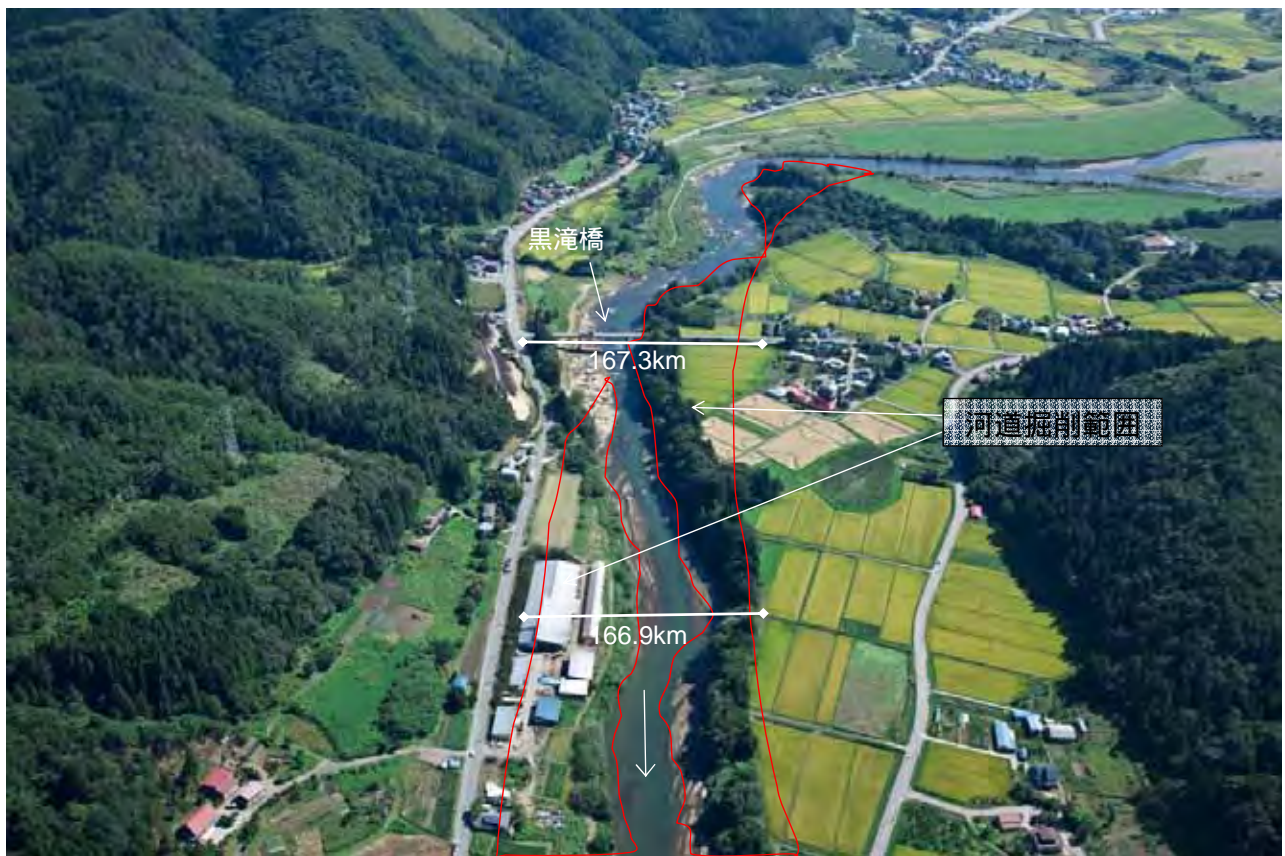
4

課題例 五百川峡谷の河道掘削について (1)

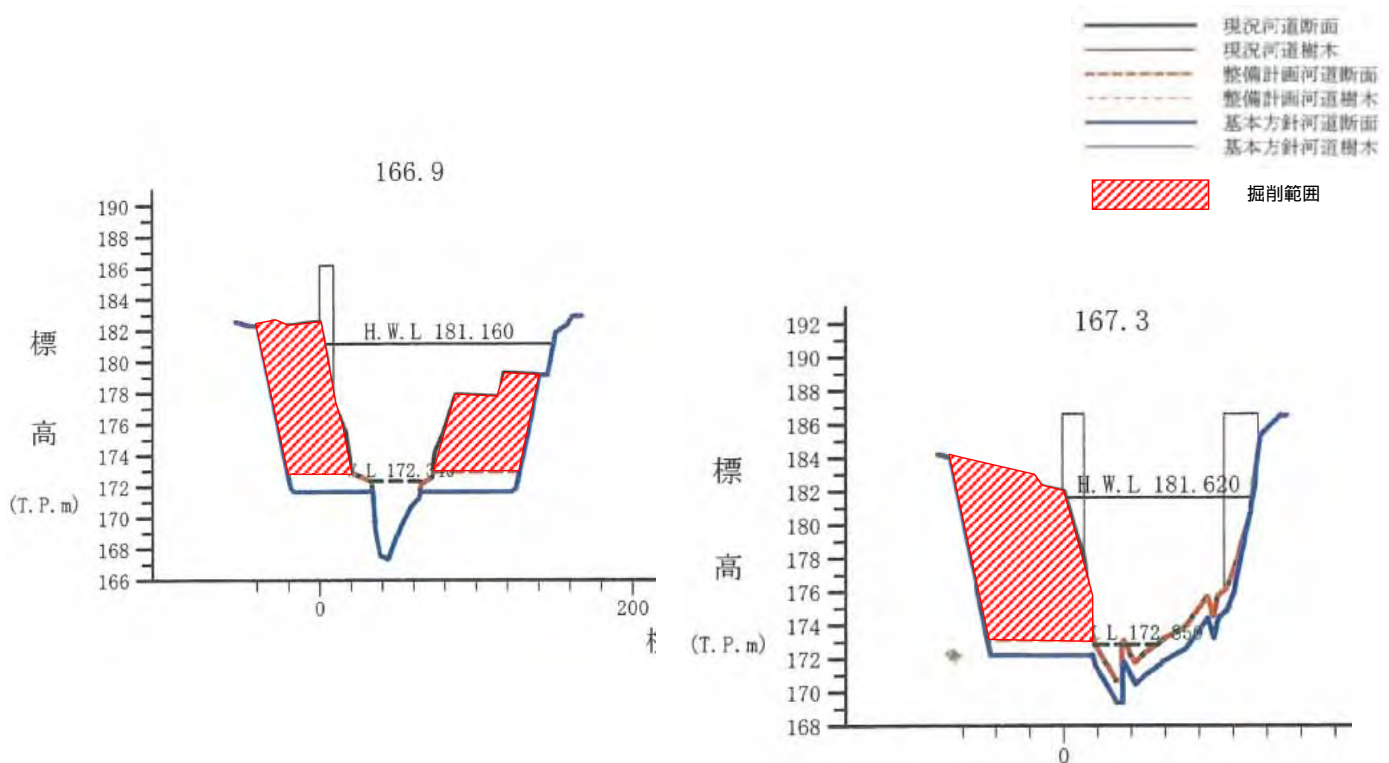


5

課題例 五百川峡谷の河道掘削について (2)



課題例 五百川峡谷の河道掘削について (3)



最上川水系流域委員会 専門小委員会について

専門小委員会の設立について

- ・現河川整備計画における課題・問題点及び対応方針について審議する。
- ・専門小委員会において審議した結果については、流域委員会に報告する。
- ・小委員会のメンバーは、「河川」、「環境」、「景観」の分野から選定し委嘱する。
- ・小委員会については原則公開方式とする。

小委員会委員メンバー(案)

分野		氏 名	役職	所 属 等
河川	水資源工学 水文学	【座長】 カザマ ソウ 風間 聡	教授	東北大学大学院 工学研究科
環境	河川環境学 応用生態工学	ワタナベ カズヤ 渡邊 一哉	准教授	山形大学農学部 食料生命環境学科
景観	景観工学 土木計画学	ヒラノ カツヤ 平野 勝也	准教授	東北大学大学院 情報科学研究科

敬称略、順不同